

第42回日本丸マスターズ報告

植木孝典

第26回定演の大成功おめでとうございます！
コロナ禍での練習さぞ大変だったことと察しております。さいわ



スタート前はみんな笑顔

い、稲垣、
岩尾両先
輩にチケット
を確保し
ていただき
拝聴させ
ていただく
ことができ
ました。
鈴木実

行委員長の元気あ
ふれるご挨拶、飯島

さんの“登橋礼”も帆船の雰囲気醸し出されて素晴らしかったです。

驚きは“長寿番付表”を拝見して、小生の16年生まれ組は
未だ前頭筆頭か小結に甘んじていることでした。

大声を発することが喉と肺の鍛錬となり健康へのプラス効果とな
っていることを改めて感じさせられました。

これからの1年を大いに頑張って27回目の定演をさらに素晴
らしいものとして頂きたいとおもいます。

去る5月23日、恒例の“日本丸マスターズゴルフ大会”(第4
2回)が静岡県の



表彰式の前にまず乾杯

かせていただくこととなった次
第です。

諸兄の平素の行いの良さから素晴らしいゴルフ日和に恵まれ
楽しい大会となりました。今回が42回目という回数にびっくり
ですが、それ以上に参加者14人(出席率30%) (うち80歳
以上の“幸齢者”が8人)とはあまり例をみない驚きにおもいま
す。

大森キャプテンのご指導の下、いよいよ喉を鍛えて(コロナも
退散させて)ください。

最後となりましたが何時も温かく迎えてくださる皆さんに改め
てお礼を申し上げますとともに団の益々のご活躍を祈念申し
上げ報告を終わらせていただきます。

ご報告は“第21回定演”までお世話になりました「植木孝典」
でした。



優勝の長崎さんへ、川
島ゴルフ部長から賞金
贈呈



第7位の植木さん



ゴルフよりこちら、の人も

順位	氏名	Out	In	GRS	HD	NET
優 勝	長崎 浩一	51	48	99	26.4	72.6
準優勝	野本 秀雄	49	48	97	24.0	73.0
第 3位	鈴木 昭	52	50	102	28.8	73.2
第 4位	佐藤 精吾	46	45	91	15.6	75.4
第 5位	西山 豊	56	53	109	32.4	76.6
第 6位	山路 永司	53	54	107	28.8	78.2
第 7位	植木 孝典	53	44	97	18.0	79.0
第 8位	石井 邦雄	48	49	97	18.0	79.0
第 9位	荒津 一朗	50	52	102	22.8	79.2
第10位	稲垣 孟	45	56	101	20.4	80.6
第11位	伊藤 隆輔	57	62	119	38.4	80.6
第12位	岡本 昭男	57	60	117	36.0	81.0
第13位	川島 通明	63	65	128	46.8	81.2
第14位	鶴野 正樹	58	59	117	34.8	82.2

初夏、ヨット（ひまわり号）

岡本 昭男

生憎の曇り、友人の車で、鎌倉ヨットハーバーに到着、トローリングフィッシングをすると言うので、釣り道具をヨット迄運ぶのを手伝う。



出航！

さっそく、出港準備、エンジンを始動し、舵輪カバーを外し、

舳ロープを外す。後進で、ヨットハーバーを抜ける。まだ、帆をはらないで微速、機動走行、神奈川県ヨット大会が開催

されているとの事で、ヨットの帆柱が群がり、見張りに注意

しながら、鎌倉沖に。

小坪港沖で見る陸は曇り霞んでいる。

トローリングの仕掛けを投入する。

4~5knot で逗子沖方面に向かう。しかし、全然、釣れない。友人は、魚がないからだ、負け惜しみを言う。

少し強めの風で、流される。帆を少し張り出す。楽しい帆走の気分。

何時もなら、この付近から、伊豆半島東の向こうに、富士山が見え、見事な風景の逗子沖だが、今日は、曇り空。見えない！残念！



神奈川県ヨット大会

裕次郎記念灯台を左舷（ポートサイド）に見ながら、葉山沖を目指している。

佐島沖、南東の方向には、城ヶ島が霞んで見える。



遺逸号に挨拶

葉山沖、投錨すると、友人の馴染みのヨット仲間（遺逸号）が、投錨している。手を振り、挨拶。

佐島で先日、友人が釣りあげた蛸（約3kg）

の「タコ飯」が今日の昼食のメインデッシュだ。奥様の手料理との

事、感謝。タコ飯は、瀬戸内海の季節料理でもある。季節内には、瀬戸街道筋の食堂前に、タコ定食！と書いた幟が立つ。

瀬戸内の潮風、磯風が思いだされる。竹原、三原、尾道等、村上水軍のかつての根拠地には、タコ定食と共に、村上水軍時代の海賊の風情がある。

江の島に向け、帰港準備。釣り具を収納する。海藻がくっついていただけだった。やっぱり、魚がないのか？

かなりの風が出てきた。右舷に当て舵を取るが、風上にせり上がる。270度を保持している。



ヨット競技も終了したのか、多くの

空だけじゃない、海も任せて

白い帆柱は、遠く、鎌倉ヨットハーバー付近に見える。そこで、漁網、タコの仕掛けに注意して、航走する。

約5knot、KM-2（初級練習機：富士重工社）で下関海峡、火の山上空を飛行する時は120knot だったが、このスピードでも、スピード差を感じない。スピードより、空、海の広さを感じざるを得ない。

ヨットハーバー入港口が見える。無事帰投できそう、防眩物を出す。

慎重に入港。

艇を少し水洗い、放水ホースで錨部分の鎖、ロープを重点に洗浄する。係留ロープを再確認して、最後の艇上歓談、ラム、ジ



ンが美味しい。残りのサラダ、パンが、また、美味しく感じられる。

これが最高！

アナウンスあり、強風、13mとの事、良き時間に帰り着いた！漁船が一隻、避泊して来た。明日は、嵐か？

タコ飯と紺碧の空に、青い海、初夏の一時、関東地方、梅雨入りとの事！